

普及現地情報



発信年月日：令和5年(2023年)7月7日

所属名：湖東農産普及課

番号：F23009

部門分類：355

発信者名：富岡、近藤

昇温抑制技術（簡易ミスト）実証ほを設置

近年の夏期高温によりイチゴやトマトなどの施設栽培品目で高温障害等が発生していることから、その被害軽減に向けて、当課では、昇温抑制技術の導入を進めています。今回、湖東管内のイチゴ農家2戸の育苗ハウスに簡易なミストノズルとICTバルブを活用した昇温抑制技術実証ほを設置しました。

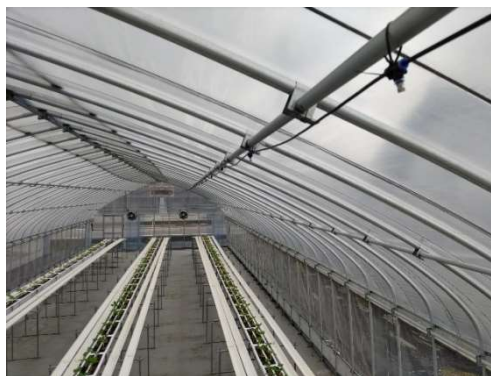
近年、7～8月の異常高温により、パイプハウス等施設内では遮光などの対策を講じていてもハウス内気温が45℃以上となり、イチゴ栽培では育苗時に葉焼けが発生したり、苗の発生が遅れ苗数確保に苦慮したり、トマト栽培では葉焼けや裂果、尻ぐされが発生し収穫量が減少しています。

そこで、被害軽減に向けて、令和4年度に農業革新支援部で実証されたICTバルブと簡易なミストノズルを組み合わせた比較的安価な昇温抑制技術の導入を進めています。この技術は、高温時に自動でミスト散布し気化熱により温度上昇を抑えるもので、令和5年度は愛荘町と多賀町のイチゴ農家の育苗ハウスに実証ほを設置し、昇温抑制効果の確認を行っています。

今後、より昇温抑制効果が上がるようICTバルブの稼働設定を調整するとともに、管内のイチゴやトマト、キュウリなど施設果菜類を栽培する農家を集め研修会を開催し技術導入を進めていきます。



ミストノズルの設置作業



ミストノズルの設置状況